

## 2025年度 ニチキッズあいずみさからじ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月6日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を行動指針とし、具体的な基本方針のもと、質の高い保育を目指すよう努めた。話し合いや振り返りを重ねることで、目的を具体化し改善策を明確にできた。個性を尊重し、認め合える関係づくり、内面の育ちを大切にしていねいにかかわることができた。
子どもの発達援助	発達の道筋について、職員間で共通理解を図り、連続性のある保育をおこなうよう努めた。ひとりひとりの個性を認め、興味関心、意欲を大切にし、主体性、自尊心、協調性など、心豊かに生きる力を育むよう努めた。
保護者に対する支援	参観や行事など、子どもの成長を感じられる機会を定期的に持ち、喜び合うことができた。また、送迎時のやりとりや懇談、連絡帳や掲示など、共通理解を深めながら、気軽に相談できるような雰囲気づくりをし、信頼関係を築けるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	適宜研修を重ね、知識を高めたり、実践に活かした。日々の保育の振り返りをていねいに行い、気づきや得たものを共有したり、大切にしたいことを共通理解することで連帯感が強くなり、園保育の基礎が確立してきた。

総評
子どもの個性を尊重し、主体性を育むかかわりの中で、人格形成の基礎となる“非認知能力”を育むことを大切に保育することができた。日々の保育を振り返り、職員間での連携を密に連続性のある保育をおこなうことができた。また、ひとりひとりの内面に目を向け、寄り添いながらていねいにかかわることで、その育ちを支えることができた。おもいきりSTEAMの視点を日々の保育の中に取り入れ、保育士のスキルアップを図り、保育の質向上にもつながった。今後も異年齢交流の幅を広げ、かかわりあいを深めつつ、子どもたちの豊かな心の育ちを目指し、保育していきたい。必要性に応じた内容の研修を適宜取り入れ実践に活かし、より一層質の高い保育ができるよう一致団結し、さかふじらしい保育を追求する。